

第2層地域支え合い推進員の活動報告

茅ヶ崎市社会福祉協議会では、地区担当職員が市内13地区の地域支え合い推進員としても、地区のみなさんと様々な活動に取り組んでいます。

令和7年度下期も、**地区支援ネットワーク会議**を中心に「社会資源の掘り起こしと創出」「多様な活動主体間におけるネットワーク構築」「ニーズと取り組みのマッチング」に取り組みました。

○地区支援ネットワーク会議とは？

各地区で概ね月1回開催される会議（第2層議体）。出席者は地域の方（地区社協、地区VC、民生委員、自治会関係など）・包括支援センター・市・市社協（第2層推進員）など、地区により様々です。この会議で、個別のケースを共有したり、地域の課題を考えたりと、活動のきっかけになることが増えています。

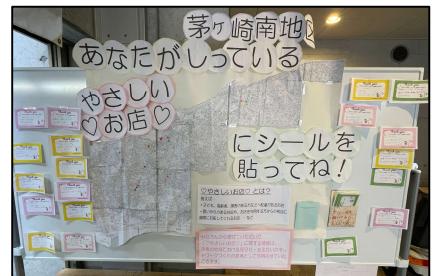
～取り組みの広がり～

● 「社会資源の掘り起こし」に関する取り組み



茅ヶ崎地区・鶴嶺東地区・小和田地区などで福祉マップの製作が取り組まれています。

福祉マップの製作は、身近な支援や居場所を見る化し、安心して暮らせる地域づくりにつなげるとともに、住民同士の気づきや支え合いを育むきっかけとなることから、2層推進員も関り活動を支援しています。



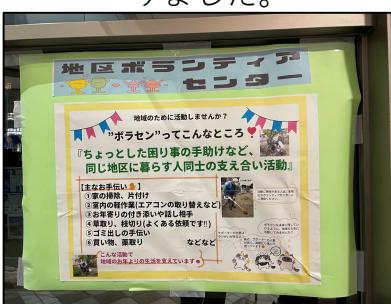
茅ヶ崎南地区では商店が多い地域柄に着目し、地域の見守りネットワークに商店の力を借りることを狙った「やさしいお店プロジェクト」を始め、コミセン祭りにて親切なお店に関する情報を募るアンケートを実施しました。

● 「新たなネットワークの構築」に関する取り組み



市立梅田小学校5年生の総合学習に協力し、子ども達が地区社協・地区ボラセン・ミニディサロンの皆さんと出会い・交流し、活動に関して学ぶ機会を作りました。

子ども達は担い手不足に悩む地域団体の声を聞き、「自分たちが何とかしたい！」と広報活動に協力していただけることになりました。



←1月23
・24日にBリーグ会場にて子ども達が地域活動を紹介

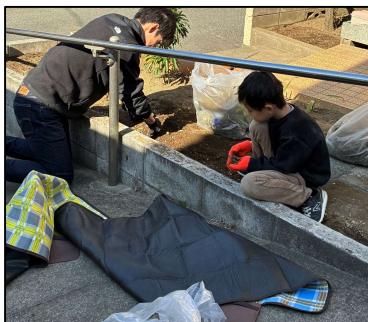


小和田地区のボランティアセンターではボランティアをすることで貯まるポイントを地域の商店の景品と交換できる「ボランティアポイント制度」を導入し、推進員も活動を支援する中で、令和7年度は地区内17のお店に協力いただく予定となっています。

● 「ニーズと取り組みのマッチング」に関する取り組み



社会福祉法人との連携による移動支援の取り組みでは、新たに湘南地区社協が、湘南ベルサイドと連携を図り、福祉まつりにおいて地区住民の移動を支援しました。また、南湖地区ではふれあいの麗寿に場所を借りたサロン「南湖サロン麗寿」も新たに開催され、多様な形での連携が広がっています。



茅ヶ崎南地区では、地区ボランティアセンターの活動の敷居を下げご近所の方が気軽に参加できるようにするために、草取り活動をイベント化し休日に開催する工夫を試みたところ、ご近所さん・高校生・小学生に参加いただけました。学生に対しては「ボランティア活動証明書」を発行する取り組みも行っています。

● 「企業と連携した買い物支援」に関する取り組み

各地区まちぢから協議会との連携や、地区支援ネットワーク会議の場を活用した協議により、マルエツの移動販売を実施する場所の選定に取り組んでいます。

候補地の選定に関しては、「買い物に困る方が多い地域として思い浮かぶところはあるが、本当にニーズがあるかわからない・他にもっと困っているところがあるのではないか。」という声や、「茅ヶ崎の地域柄、場所の確保(車両5台分)が難しい」という声があり、想定よりも候補地選定に難航している地区が多い現状です。



現時点で挙げられている候補地

- ・湘南地区...日枝神社
- ・松林地区...妙行寺
- ・小出地区...宝蔵寺/白峰寺
- ・鶴嶺西地区...今宿グリーンハイム



日枝神社



今宿グリーンハイム